

J A南彩中期3 か年計画にかかるアクションプラン

長期ビジョン（経営戦略）	○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上につとめます。 ○組合員・地域住民のくらしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。 ○総合事業性を発揮するため、J A経営健全性の確立につとめます。
--------------	--

●農業者の所得増大・農業生産の拡大への挑戦

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標	
	令和4年度の取組実績	令和5年度の取組実績
①担い手資金支援 J A南彩独自の助成事業（J A南彩農業振興支援事業 農業振興目的積立金7,500万円）	●新規就農者支援事業 185万円 ●園芸栽培振興支援事業 353万円 ●労働力軽減支援事業 10万円	●新規就農者支援事業 ●労働力軽減効率化支援事業 ●担い手要望支援事業
・新規就農者支援事業 ・園芸栽培振興支援事業 ・労働力軽減支援事業 （助成金額600万円×3ヵ年=1,800万円）	・助成金総額548万円	・助成金総額 449万円 （2ヵ年計997万円）
②担い手経営体への労働力確保対策 （無料職業紹介事業） ・無料職業紹介所・J A南彩めぐりサポート ・乗栽培サポーター・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」・援農ボランティアの活用	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介
・J A南彩めぐりサポート 求人登録36件・求職登録39人	・求人登録 12件 ・求職登録 12人 ・採用件数 3人	・求人登録 52件 ・求職登録 51人 ・採用件数 38人（累計）
③生産者の所得増大に向けた販売強化	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大
業務用米 92ha、飼料用米等 350ha かぼちゃ栽培 100a、青パパイヤ栽培 1,700本 カラフル人参栽培 75a、アスパラガス栽培50a	業務用米 71.7ha、飼料用米等 405ha かぼちゃ栽培 85a、青パパイヤ栽培 1,448本 カラフル人参栽培 65a、アスパラガス栽培 30a	業務用米 87ha、飼料用米等 377ha かぼちゃ栽培 85a、青パパイヤ栽培 1,638本、 カラフル人参（取組中止）代替えカリフラワー作付なし、アスパラガス栽培 40a
④担い手確保対策（新規就農者支援）	●埼玉県担い手サポートセンターと協議開始	●県農林振興センターや行政と連携し、就農支援パッケージの策定および支援体制を整備
・新規就農者支援	・新規就農者支援 9件	・新規就農者支援 13件（2ヵ年計22件）
⑤農業経営支援による所得増大の支援	●県内先進J Aへの視察の実施	●令和6年度の導入に向けた視察等の実施
・農業経営管理支援事業（青色申告の記帳代行）に取組みます	・引き続き研究・検討	・引き続き研究・検討

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標	
	令和4年度の取組実績	令和5年度の取組実績
⑥農業用ドローンによる労働力支援および生産拡大	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施
・農業用ドローンによる組合員の農作業の省力化や生産性の向上をはかる	・麦防除 30ha ・水稲除草 18ha ・水稲防除 18ha ・その他 7ha 合計 73ha	・麦防除 19ha ・水稲除草 35ha ・水稲防除 25ha ・その他 17ha 合計96ha
⑦銘柄集約肥料等（高度化成肥料やP B 肥料）の取扱拡大によるコスト低減	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大
・P B 10銘柄 27,600袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い	・P B 10銘柄 25,633袋の取扱い（前年比95%） ・高度化成 4銘柄 19,618袋の取扱い（前年比98%） ・肥料価格高騰の影響による買い控えの影響も見られました。	・P B 10銘柄 24,837袋（前年比 96.9%） ・高度化成 4銘柄 17,188袋（前年比 87.6%）
⑧Web受発注システムの導入	●J A・全農間の受発注機能導入（肥料・農業）	●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注導入による効率化
・インターネット注文方式の対応による組合員の利便性向上	・7/28～本店経済課、春日部営業経済センター ・8/4～他営業経済センター Web受注システム稼働 ・現在、システムの課題等を確認中	・J Aと全農間のWeb受注については、課題が多いため、導入に向けて取組み中。
⑨直売所の集客（リピーター）率向上への取組み	●7月28日より特典付専用カゴの取扱い開始。（GC） ●6月13日より岩槻直売所をモデル店としタイムセールを実施。	●タイムセールは曜日セールに変更し実施 ●各直売所、定期的にイベントを実施
・来店客数目標 岩槻農産物直売所 年間122,000人 久喜農産物直売所 年間142,000人 菖蒲グリーンセンター 年間524,000人	・特典付専用カゴの販売実績 70個 6/13～9/26までタイムセールを13回実施。10月以降は曜日セールにて対応中。 ・各直売所来店客数 岩槻農産物直売所：122,823人、久喜農産物直売所：122,494人、菖蒲グリーンセンター：467,441人	・来店客数 岩槻農産物直売所 年間124,044人（前年比101.0%） 久喜農産物直売所 年間121,058人（前年比 98.8%） 菖蒲グリーンセンター 年間462,366人（前年比 98.9%）

具体的な行動・目標		担当部署
令和6年度	令和6年度上半期の取組実績	
●新規就農者支援事業 ●園芸栽培振興支援事業 ●労働力軽減支援事業	●新規就農者支援事業 ●労働力軽減効率化支援事業 ●担い手要望支援事業	営農支援課
・助成金総額600万円 （3ヵ年計1,800万円）	・助成金総額 520万円	
●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介	営農支援課
・J A南彩めぐりサポート 求人登録36件・求職登録39人、採用33人（累計） ・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」	・J A南彩めぐりサポート 求人登録49件・求職登録54件 採用5人 ・J Aグループさいたま求人広告 農業ジョブ 求人登録18件 求職登録46件 採用15人	
●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大	営農支援課 生産販売課
業務用米 92.6ha、飼料用米等 350ha かぼちゃ栽培 100a、青パパイヤ栽培 1,700本 カラフル人参栽培 75a、アスパラガス栽培 50a	業務用米 85ha、飼料用米等 273ha 南瓜栽培 85a、アスパラガス栽培 39a 青パパイヤ 1,480本、極早生ブロッコリー 50a	
●県農林振興センターや行政と連携し、就農支援パッケージの策定および支援体制を整備	●県農林振興センターや行政と連携し、就農支援パッケージの策定および支援体制を整備	営農支援課 生産販売課
・新規就農者支援 9件（3ヵ年計27件）	・新規就農者支援 2件	
●青色申告支援、記帳代行の導入・支援の取組み	●青色申告支援、記帳代行導入に向けた取組み	営農支援課
・青色申告の記帳代行導入	・業者との打合せ、ソフトの選定	

具体的な行動・目標		担当部署
令和6年度	令和6年度上半期の取組実績	
●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	営農支援課
・麦防除 40ha ・水稲除草 40ha ・水稲防除 40ha 合計120ha	・麦防除 79ha ・水稲除草 49ha ・水稲防除 310ha ・水稲追肥 28ha 合計 467ha	
●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	経済課
・P B 10銘柄 27,600袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い	【9月末】 ・P B 10銘柄 10,619袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 5,052袋の取扱い	
●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注による効率化	●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注による効率化	経済課
・インターネット注文開始と取扱い組合員の拡大	・県内モデルJAでインターネット注文システムが稼働しているので、その状況を検証しながらJA南彩での導入をめざします。	
●特典付き専用カゴの利用者拡大及びタイムセール等の充実	●曜日セール及び定期的にイベントを実施	直販事業課
・来店客数目標 岩槻農産物直売所 年間122,000人 久喜農産物直売所 年間142,000人 菖蒲グリーンセンター 年間524,000人	・来店客数（9月末） 岩槻農産物直売所 61,926人 久喜農産物直売所 63,074人 菖蒲グリーンセンター 258,822人	

●「地域の活性化」への貢献

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標	
	令和４年度の取組実績	令和５年度の取組実績
①准組合員直売所モニター制度の確立	●直売所、施設見学 ●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●久喜直売所、蕨南GC、岩槻直売所見学 ●意見交換会の開催 ●アンケートの実施（各直売所について、製カレーの試食について）
・モニターを募集して意見交換会やアンケートの実施。	・11/1開催 准組合員12名参加	・8/29開催（久喜江南支店） 准組合員17名 ・1/25開催（蕨南南支店） 准組合員18名 ・3/7開催（岩槻城南支店） 准組合員19名
②認知症施策に対するＪＡの支援体制の構築	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイスービスの開催 ●健康教室の開催	●認知症サポーター養成講座の開催
・認知症サポーター養成講座、ミニデイスービス、健康教室の開催（女性部と連携し、３年間で全支部実施）	・コロナ禍のため実施を見送り	・取組み件数 1団体（9名）
③組合員のデジタル技術向上に向けた支援	●ＪＡスマートフォン教室等の開催	●ＪＡスマートフォン教室等の開催
・ＪＡスマートフォン教室等の開催	・女性部役員対象（11名）	・取組み件数 2団体（2か年計3団体）

●地域密着型サービスの展開

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標	
	令和４年度の取組実績	令和５年度の取組実績
①農業領域への取組み	●農業融資体制は次年度以降に向け整備 ●貸出強化プランは実践し計画以上の成果となった ●TACと連携し同行訪問を行った ●農業者向け資産形成・運用セミナーはコロナ禍のため開催を見送り	●本店に農業融資担当者を配置 ●貸出強化プランを実践しました ●TACと連携し同行訪問を行いました ●農業者向け資産形成・運用セミナーを開催（2回）
・農業融資新規実行額 ・農業融資残高 ・農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	・農業融資担当は次年度以降に配置 ・農業融資新規実行額 165百万円（86.8％） ・農業融資残高 560百万円（93.9％） ・育成プログラムへのTAC参加は次年度以降に見送り ・生産部会等のセミナーは未開催	・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額 142百万円（63.1％） ・農業融資残高 547百万円（88.4％） ・女性部、青年部、生産部会等への資産形成・運用セミナーを実施（4回）
②生活資金ニーズへの対応	●住宅ローン提携先との連携強化により計画以上の仲長 ●JAネットローンは貸出システム本格稼働後に取組強化 ●貸出業務の本店集約は次年度以降に持越し ●マイカーローンWeb広告を実施	●住宅ローン提携先と連携強化で仲長をはかりました ●JAネットローンは貸出システム（融資実績サブシステム）が延期のため来年度以降に取組を強化 ●マイカーローンWeb広告を実施
・住宅ローン新規実行額 ・Web広告効果	・住宅ローン新規実行額 4,275百万円（129.5％） ・Web広告効果は検討の結果マイカーローンを実施	・住宅ローン新規実行額 3,314百万円（92.1％） ・マイカーローンWeb広告を実施
③資産形成・運用ニーズへの対応	●資産形成サポートプログラム終了後も継続して実施 ●資産運用形成セミナーを開催（10/8）し15名の参加	●昨年度に引き続き、資産形成サポートプログラムを継続し提案活動を実施 ●資産運用形成セミナーの開催を計4回実施
・投信契約残高等	・投資信託残高 546百万円（36.4％） ・つみたてNISA 獲得件数 148件（29.6％） ・iDeCo 獲得件数 3件（30％）	・投資信託残高 1,086百万円（72.4％） ・NISA口座獲得件数 647件 ・iDeCo獲得件数 2件（10％）
④資産相談機能の提供	●コロナ禍のため、相談セミナーは開催を見送り	●土曜日相談会（相続・融資・投資信託・共済・営農・葬儀等の相談）を開催
・相談会実施	・コロナ禍のため、相談会の開催は見送り	・久喜江南支店にて3月16日（土）開催 ・春日部支店にて3月23日（土）開催
⑤全契約者・組合員に寄り添う活動の実践	●契約者の年齢やひと保障の保障充足状況を踏まえ、対面と非対面の強弱をつけた3Q活動を実施	●組合員・利用者の安心と満足をお届けするため3Q活動を通じ、近況確認、保障内容の確認・点検を実施
・ライフプランにあわせた細やかなニーズ喚起と安心・満足の提供	・3Q訪問による近況確認実施率 99.2％ ・3Qコールによる活動実施率 1.5％ ・あんしんチェック実施率 40.0％	・3Q訪問による近況確認実施率 50.9％ ・3Qコールによる活動実施率 0.2％ ・あんしんチェック実施率 49.8％

具体的な行動・目標		担当部署
令和６年度	令和６年度上半期の取組実績	
●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●モニターの募集	ふれあい広報課
意見交換会でいただいたご意見を積極的に直売所運営、当組合の事業運営に反映します。	申込人数 13人 第1回10/25、第2回11/21、 第3回R7.1月下旬予定 全3回	
●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイスービスの開催 ●健康教室の開催	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイスービスの開催 ●健康教室の開催	営農支援課
・各項目を7支部中2支部実施（3か年計7支部）	・女性部 宮代支部、春日部支部	
●ＪＡスマートフォン教室等の開催	●ＪＡスマートフォン教室等の開催	営農支援課
・取組件数 3団体（3か年計3団体）	・取組みに向けて日程調整中 1団体	

具体的な行動・目標		担当部署
令和６年度	令和６年度上半期の取組実績	
●農業融資体制の構築、強化 ●貸出強化プランの実践 ●農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	●TAC定例会議に参加し農業融資研修会を実施 ●農機展示会に参加し農業融資のPRを実施 ●TACに各管内の融資拡充強化検討会議に参加してもらい、情報共有を行っている	融資課
・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額 240百万円 ・農業融資残高 643百万円 ・各管内でセミナーの開催	・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額 117百万円 ・農業融資残高 592百万円 ・生産部会等への資産形成・運用セミナーを3回実施	
●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの仲長 ●JAネットローンの取組強化 ●Web広告の実施 ●提携住宅業者との連携施策の実施	●住宅ローン提携先と引き続き連携強化 ●融資実績・電子契約サブシステムを9月より導入 ●Web広告が下期に実施予定 ●提携住宅業者との連携施策は下期に実施予定	融資課
・住宅ローン新規実行額 3,200百万円 ・Web広告を実施（マイカーローンを予定）	・住宅ローン新規実行額 1,248百万円 ・マイカーローンのWeb広告が下期に実施予定	
●LPCを活用した提案活動の実施 ●優良資格の積極的な取得を促し人材育成 ●セミナーの開催	●LPCによる提案活動を実践 AFP・CFP養成研修の案内 年金相談員養成講座等、LPCの総合的なスキルアップにつながる研修の案内 ●資産形成・運用セミナーを3回実施	金融課
・投信残高 1,600百万円 ・NISA口座獲得件数 485件 ・iDeCo獲得件数 10件	・投資信託残高 1,362百万円 ・NISA口座獲得件数 124件 ・上期iDeCo獲得 1件	
●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	●相続相談会は下期の土曜日相談会にて開催予定	資金運用課
・各管内で年1回開催	・土曜日相談会にて開催予定	
●全契約者、組合員への3Q活動の実践	●3Q訪問・3Qコールによる組合員・利用者の近況確認の実施	共済課 推進企画課
3Q訪問（オンライン面談含む）による近況確認・あんしんチェック・3Qコール（電話による近況確認）活動実施率100％	・3Q活動実施数 10,094件、実施率30.5％ （うち3Qコール 146件） ・安心チェック実施数 9,894件、実施率29.9％	